

4月26日 肥後にわか
市観光大使「劇団にゃあ」単独講演

市民有志らで活動する「劇団にゃあ」の単独公演が泗水ホールであり、約300人が肥後にわかを楽しみました。劇団は平成20年から市の観光大使も務め、県内外で市のPR活動も続けています。団員はユニークな衣装を身に着け、家族の絆をテーマに約2時間半を熱演。終盤には江頭実市長が登場するサプライズもあり、会場は笑いに包まれました。



悪徳金融会社と家族とのやりとりをユーモラスに演じる団員たち

4月17日 菊池川漁業協同組合
竜門ダム湖でワカサギ卵のふ化箱設置

菊池川漁業協同組合（江藤俊男組合長）が、竜門ダム湖畔にワカサギの卵（約200万粒）のふ化箱を設置しました。卵は約10日でふ化し、稚魚はダム湖を回遊します。ダムには現在、ワカサギの卵や成長期の稚魚を食べてしまう外来魚のブラックバスが大量に発生しており、その駆除にも力を入れています。組合員は「ダム湖を訪れた人にワカサギ釣りを楽しんでほしい」と話しました。



ふ化箱を設置する組合員

5月4日 わいふ一番館コンサート
中世の鍵盤音楽に酔いしれる

わいふ一番館でコンサートがあり、市民など約50人が訪れました。テノール歌手の高田重孝さんとヴァージナル・チェンバロ・ピアノ奏者の花岡聖子さんの二人が聖歌などを披露。観客は中世の楽器が奏でる優しい音色に酔いしれていました。ヴァージナルは15世紀末から18世紀末にかけて、主に欧州で愛好された鍵盤楽器。弦は真鍮で爪には白鳥の羽の芯が使われています。



聖歌を披露する高田さん㊟と花岡さん㊟

4月26日 七城方面隊消防操法大会
操法で団結力・防災力アップ

菊池市消防団七城方面隊の消防操法大会が七城総合グラウンド駐車場で開催されました。大会には21チームが出場。選手たちは約60メートル先の的を倒して撤収するまでの一連の作業をきびきびとした動作で披露しました。結果は次のとおりです。

優勝 第8分団
1部 岡田・流川班
2位 第9分団
1部 清水班
3位 第9分団
1部 間所班



選手たちの大きな声が会場に響き渡りました

4月28日 県・市税務職員併任協定辞令交付式
県とタッグで税徴収率アップ

県と本市の税務職員併任協定に伴う辞令交付式が市役所であり、県北広域本部総務部収税課職員5人に辞令が交付されました。県市税の徴収率向上を目的に締結したもので、期間は平成28年3月31日まで。併任職員は県税と市税両方の徴収事務が可能になり、市内の地方税滞納者を対象に徴収事務を行います。江頭市長は「市税の徴収率向上のため力添えをお願いします」と述べました。



江頭市長から辞令を受け取る県職員

5月1日 菊池教育会
迫間川で鯉の滝のぼり

迫間地区の前田橋付近に13匹の鯉のぼりが架設され、式典が現地で開催されました。菊池教育会（木原昭三会長）が企画し3回目。式典には地元住民や菊池さくら保育園の園児、関係者など約50人が出席。迫間川上流に見える滝と迫間橋（市指定文化財）に向かって泳ぐ鯉の群れを観賞しました。木原会長は「次世代を担う子どもたちの成長を皆が願っている。目標を持って頑張してほしい」。



優雅に泳ぐ鯉を眺めながら、参加者全員で子どもたちの健やかな成長を祈りました

4月19日 北宮区で防災訓練
地域の防災力を高めよう

北宮区で防災訓練があり、住民約30人が参加しました。参加者は小型ポンプの使い方について地元消防団の指導を受けた後、土のうの設置方法を学習。用水路と消火栓の点検確認も行いました。同組織は平成25年に設立。訓練は3回目で、8月には水難訓練を実施予定。北宮区防災組織会の田中昭雄会長は「消防団員以外にも防災活動ができるようにして防災力を高めたい」。



小型ポンプの使い方を学ぶ参加者

4月24日 菊池市企業連絡協議会発足
まちの産業振興を目指します

菊池市企業連絡協議会の定期総会が七城温泉ドームで開催され、菊池市工業連絡協議会、七城町企業連絡協議会、泗水町企業連絡協議会が合併し、新たに菊池市企業連絡協議会（山下和貴会長＝㈱サンワハイテック代表取締役）が設立されました。本協議会は市内に事業所がある製造業など61社で構成。本市の産業振興を図るために、会員相互の情報交換や研修、親睦事業などを行います。



市内の企業が一つになり、決意を新たにしました

4月26日 泗水方面隊消防操法大会
市民を火災から守るために

菊池市消防団泗水方面隊消防操法大会が泗水グラウンドで開催され、24チームが日頃の訓練の成果を披露しました。この大会は、火災現場で重要となる小型ポンプ操法技術の習得、団員の士気向上を図ることを目的に毎年開催されています。結果は次のとおりです。

優勝 第13分団1部1班（上高江・薬師）
2位 第13分団3部1班（富出分・田中）
3位 第14分団2部1班（永）



きびきびとした動きで的を倒す選手たち

4月19日 菊池市消防団入団式
まちを守る新たな力

菊池市消防団入団式が菊池市総合体育館で行われ、110人の新消防団員が誕生しました。荒木新勝団長は式典で「消防団としての誇りを持ち、自分たちのまちは自分たちで守るという精神に基づき、地域の安心安全を守るために活躍してほしい」と訓示。第5分団の富士本眞文さんは「入団したばかりで分からないことばかりですが、地域防災のため頑張りたい」と抱負を述べました。



荒木団長から辞令を受け取る新入団員

4月20日 地域づくり研修会
やねだんに学ぶ地域づくり

地域づくりの研修会が菊池市福祉会館であり、市民など約150人が参加しました。先進事例から地域再生に必要なものを学ぼうと市が企画。講師には「やねだん」の豊重哲郎氏を招き、行政に頼らないまちづくり、住民の意識改革、人材の育成の必要性を学びました。「やねだん」は鹿児島県鹿屋市柳谷集落の通称。独自の福祉や青少年育成など、自立した地域づくりに取り組んでいます。



地域再生のポイントを語る豊重氏

4月26日 きくちマルシェ vol2
数千人が芝生の上でピクニック

野外で買い物や食事を楽しめる「きくちマルシェ vol2」が菊池市民広場であり、市内外から大勢の人が来場しました。子ども連れのママに食事や買い物をゆっくりしてもらおうと市民有志が企画。会場には手作りの洋服や雑貨、飲食店など約70店舗が軒を連ね、多くの買い物客でにぎわいました。「くまモン隊」のダンスもあり、子どもたちもマルシェを満喫していました。



大盛況となったきくちマルシェ。近隣の駐車場もいっぱいになりました